

社会福祉法人 本郷の森 令和5年度 事業報告書 『サポートセンターいちょう』(指定特定相談支援)

今年度は、昨年度と同様の2名体制(うち1名は本富士拠点と兼務のため実質1.5名)でスタートしている。昨年度は引継ぎのため2名で動くことが多かったが、現在はほぼ引継ぎを終え個々で動いている。また、兼務の職員は本富士拠点の新規ケースも担当しながら、さらに引き継ぎを進めている。

計画作成・モニタリングの通常業務がある中で、本富士拠点の電話対応を当番制で担っている。さらに基本相談では、手続き関係の相談・同行、ヘルパー事業所の調整、就労Bやグループホームなどの事業所探しから見学・体験・振り返りなど、動きの時間を要する場合も多く予定を組む事が難しい時もあった。日中に訪問・同行がある分、書類作成や事務などは業務時間外に行わざるを得ないこともあった。

登録者数に大きな変化はないが、新規・再入・終了の動きがあった。基本的に今年度も新規受け入れは停止しており、区民で法人内事業所を利用する場合は都度相談のうえ可能な範囲で受け入れている。昨年同期に比べて新規依頼は半分ほどに減っているが、そのうち14件はお断りしている。他区からの依頼もあり、区内の計画相談事業所に加え、他区も不足している現状を感じている。

また、普段利用している居宅介護事業所が人員不足で廃業との知らせがあり、新しい事業所探しや契約・引継ぎなどの対応があった。計画相談の事業所のほかにも、居宅介護(ヘルパー)不足、グループホーム(滞在型、ワンルームタイプ)が不足しており、一方で精神科対応の訪問看護ステーションは営業が多くあり充実している。ヘルパー事業所は新しいところを開拓したいが、利用希望に対し、ヘルパーさんの人員が不足しているため、事業所探しの困難さも感じている。

対応に時間を要することや難しいケースも増えてきているが、相談・連携しながら着々と経験を積み支援に携わる事ができている。

I. 利用登録者状況

(1)利用登録者

	4月	3月	特記事項
登録者数	104	103	令和5年3月末の登録104名・令和5年4月1日に1名終了
男性	65	64	-
女性	39	39	-
区民	94	93	区民は全体登録者の約90%

- ・文京区外では、北区、江戸川区、足立区、豊島区、葛飾区、江東区の方。
- ・他区の方は継続ケースや法人内の福祉サービス利用者を原則対象としている。
- ・軽度知的障害での支給は4名
- ・サービス終了は13名。

(2)新規詳細 (R4年度の新規登録者数12名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	2	4	0	0	1	1	2	0	0	0	0	11

- ・新規11名のうち再導入7名
- ・昨年4月以降、新規受け入れをストップしている、法人内サービス利用者の区民は都度検討して受け入れ。受け入れできなかった新規希望は14件。年度後半は新規依頼が減り0件の月が続いたが3月には4件の依頼があった。

(3)利用している福祉サービス ※併用しているケースあり

サービス内容(法人外)	人数(法人内)	サービス内容(法人外)	人数(法人内)
B型事業所(10か所)	69(53)	グループホーム(7か所)	8(2)
就労移行事業所(5か所)	5(4)	居宅介護(11か所)	39
就労定着支援(2か所)	9(6)		

- ・昨年度より、法人外の就労B・グループホーム・居宅介護の事業所数が増えている。
- ・すでに福祉サービスを利用している方が、追加で居宅介護を利用するケースがある。
- ・就労移行を卒業後に就労定着に移行したケースが続き、移行が減、定着が増となっている。

II. 作成数や動き

(1)動き

	計画	モニタ	合計	面談・訪問	ケア会議・連携	同行	リモート	合計	TEL等
4月	7	16	23	54	7	14	0	75	185
5月	9	16	25	47	2	11	1	61	146
6月	8	20	28	61	3	7	1	72	159
7月	8	17	25	47	3	4	2	56	93
8月	5	20	25	42	3	2	0	47	134
9月	5	20	25	49	2	1	0	52	118
10月	12	13	25	49	7	6	1	63	105
11月	8	12	20	48	7	5	0	60	160
12月	9	17	26	37	2	5	0	44	192
1月	9	19	28	48	2	0	2	52	166
2月	7	14	21	45	3	2	0	50	174
3月	8	23	31	59	3	2	1	65	161
合計	95	207	302	586	44	59	8	697	1793
前年度比	94%	126%	114%	124%	72%	97%	17%	109%	112%

※最終ページR4年度の動き参照

- ・新型コロナウイルス感染者数の程度や職員の体調により、PCでのリモート面談を実施しているが前年度より8割減と大幅に頻度が減っている。実施の際は法人内では事業所職員へPCのセッティングから協力いただいている。
- ・8~9月以外の計画作成、モニタリングの方が多くその分他機関との連絡等も多い傾向にある。
- ・個人業務が多く、夏季休暇(7~9月)などで休むと業務に直接ひびくことや拠点ケースの訪問や電話対応を担うこともあり、モニタリングの予定や書類作成が滞ることがある。7~9月の件数が影響している。
- ・拠点から法人内事業所を利用した方の計画を引き受けたケースがいくつかあるが、基本相談の動きの場合、拠点ケースとして記録しているため、実際の登録ケースの動きとしては少ない数字になっている。

(2)支援内容

計画作成やモニタリング、ケア会議、サービス調整以外にも、生活支援が増えている。

- ・健診、通院、入退院同行(入院調整、入院準備の手伝い、退院調整) ・余暇活動の同行
- ・生活保護、障害年金、相続、金銭管理などの相談(必要に応じて窓口や関係機関との相談に同行)
- ・手続きのサポート(障害者手帳申請、障害年金申請、確定申告、その他書類の書き方など)
- ・見学同行(就労B、GH、地活、ショートステイ、DC)、振り返り同席 ・契約同席(GH、居宅介護、訪問看護)
- ・生活環境の相談(自宅清掃、生活用品の買物同行、家電購入の相談など) ・安否確認の訪問
- ・転居に伴うサポート(荷物整理、荷運び、住所変更、転居先の相談) ・家族支援(相談、ケアマネとの連携)

Ⅲ. 会議・研修

(1) 会議

① 相談支援事業所連絡会関連

日程	内容	参加者	日程	内容	参加者
4/28	事業所のみ	1名	10/10	事例検討会	1名
9/22	行政、事業所	1名	11/24	事業所のみ	1名
1/26	事業所のみ	1名	3/22	行政、事業所	1名

・今年度より「事業所のみ」の連絡会では、事前にテーマを募ってグループワークの実施を試みていた。また、新規受け入れ可否の共有方法については毎月回答フォームに答える形で実施されていた。しかし、連絡会の参加者や新規受け入れの回答数が少なく、来年度に向けて連絡会の目的や実施方法などについて検討されている。

・10月の事例検討会では事例提供者として参加。

② 地域移行支援関連

日程	会議名	参加者	日程	会議名	参加者
5/19	地域移行支援会議	1名	11/17	地域移行支援会議	1名
8/18	地域移行支援会議	1名	2/16	地域移行支援会議	1名

・都内長期入院者調査や長期入院後退院者の報告を行っている。

・入院医療機関が遠方であることが多いことや、動機づけを担う機関が基幹相談支援センターしかないことなど課題が挙がっている。

(2) 研修・その他

日程	研修名	参加者
6/23	ケアマネ交流会	1名
7/29	あみ沖縄大会	1名
9/3	日弁連大連帯会議	1名
9/11	滝山病院 PT 説明会(Zoom)	1名
9/12	計画相談支援従事者等養成研修(動画視聴)	1名
9/15	計画相談支援従事者等養成研修(Zoom)	1名
9/15	サービス管理責任者更新研修(動画視聴)	1名
9/20	あみ滝山病院勉強会(Zoom)	1名
9/29	サービス管理責任者更新研修(演習)	1名
10/27	ケアマネ交流会	2名
11/29	成増厚生病院 BaANS	1名
12/8	相談支援従事者専門コース別研修	1名
12/12	中部研修・地域連携研修 1「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築について」(Zoom)	1名
2/16	実務者連絡会	1名
3/14	文京区成年後見中核機関研修(意思決定支援について)	1名

IV. 職員構成

職名	氏名(資格)
管理者	1名(精神保健福祉士)
相談支援専門員	2名(精神保健福祉士)

V. 課題と今後

- ・事業所で担っている通所中の支援以外の生活支援(家事や住居、手続き等のこと)について計画相談に依頼されることが多いが、職員の人手が不足している現状から緊急性の低いものは後回しになってしまっている。法人内の事業所では障害年金の手続きなどを担っていただき非常に助かっている。
- ・基本相談のほとんどを無報酬で支援している現状がある。今後、地域移行支援事業によってこれまで無報酬だった退院支援等が報酬化できるのではないかと下調べを進め、12月の理事会で承認された。区内の地域移行支援事業を行っている事業所に話を伺いながら来年度(時期未定)からの事業開始の準備(指定申請、地域移行に関する研修の受講等)を進めている。
- ・個人での業務が多く、他職員の動きを知る機会は少ない。毎日夕方にミーティングをし始めたため、その中で日々の動きを共有している。ただ予定もあり安定して毎日情報共有ができていないわけではない。今後も振り返りながらよりやりやすい開催方法にしていきたい。
- ・障害福祉サービスから介護保険サービス(第2号被保険者)へ移行のための相談があり、そのための関係機関とのやり取りも多く、初めて経験する動きが多かった印象である。介護保険についてはまだ分からないことも多いが、来年度以降は第1号被保険者(65歳以上)の対象者が増え始めるため、手続きや引き継ぐことになった場合に対応できるよう経験を積んでいきたい。

※参考資料 令和4年度の動き

	計画	モニタ	合計	面談・訪問	ケア会議・連携	同行	リモート	合計	TEL
4月	8	16	24	46	7	7	2	62	169
5月	3	23	26	44	4	3	2	53	137
6月	10	13	23	42	8	3	1	54	130
7月	11	15	26	39	3	5	9	56	133
8月	6	11	17	26	6	3	8	43	76
9月	7	13	20	34	4	3	4	45	88
10月	5	10	15	37	3	4	3	47	149
11月	6	11	17	32	5	5	4	46	139
12月	15	16	31	45	4	5	12	66	162
1月	10	14	24	38	6	4	1	49	150
2月	9	6	15	36	3	12	0	51	110
3月	11	16	27	54	8	7	1	70	151
合計	101	164	265	473	61	61	47	642	1,594